

たゆまない修養と修業に重きをおき、すじ道をたてて考えていった徳一の思想は、その後も長く仏教界に影響を与えました。特に、天台宗と真言宗のお坊さんたちは、徳一の考えに反論するため、何代にもわたって研究を続けていったのです。



徳一の骨を埋めた石塔

都から遠く離れたところで、仏教を教え広める活動が続けながら、仏教の真理を追求し、最澄・空海とならぶ学問僧として、仏教界に大きな影響を与えた徳一は、私たちの誇りです。

そのため磐梯町では、1987年（昭和62年）、昔の恵日寺跡<sup>あと</sup>の近くに資料館を建設し、徳一や恵日寺に関する調査研究を行うとともに、見学に訪れる人のために施設や史跡の整備を進めています。



本寺地区にある磐梯山慧日寺資料館